

一般社団法人 日本腎臓学会
理事長 柏原直樹
腎臓病療養指導士創設に関する合同委員会
委員長 要 伸也

第1回腎臓病療養指導士講習会のお知らせ

日本腎臓学会では、日本腎不全看護学会、日本栄養士会、日本腎臓病薬物療法学会と共同で、標準的なCKDの保存療法を現場に浸透させることを目的に腎臓病療養指導士制度を立ち上げ、運用していくための準備を行っています。「腎臓病療養指導士」は、職種横断的な、CKD療養指導に関する基本知識を有した方を育てるための資格で、対象は看護師、管理栄養士、薬剤師の3分野の方々です。

今回、下記の日時で第一回腎臓病療養指導士の講習会を実施いたしますのでご案内申し上げます。なお、本講習会の受講は、今後行われる予定の腎臓病療養指導士認定試験の応募要件の一つとなります。

記

第1回腎臓病療養指導士講習会

日 時： 平成29年3月19日（日）10:00～16:00
会 場： 東京医科歯科大学 M&Dタワー 鈴木章夫記念講堂
参加費： 10,000円（テキスト代込）
プログラム： 3ページ目をご参照ください。

【会場案内】

※東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫記念講堂へのアクセス

http://www.tmd.ac.jp/tlo/medu-net/map/tmdu_md2_suzuki_both.pdf#search=%27%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E5%8C%BB%E7%A7%91%E6%AD%AF%E7%A7%91%E5%A4%A7%E5%AD%A6+%E9%88%B4%E6%9C%A8%E7%AB%A0%E5%A4%AB%E8%A8%98%E5%BF%B5%E8%AC%9B%E5%A0%82%27

(腎臓病療養指導士認定試験の応募要件)

1. 対象者：看護師，管理栄養士，薬剤師の資格を有し，資格取得後 3 年以上経過している者。
2. 認定試験の応募要件
 - 1) 療養指導の実務経験
 - ① 所定の施設基準*を満たす医療施設において，過去 10 年以内に通算 2 年以上，かつ通算 1000 時間以上，腎臓病患者の療養指導業務に従事し，かつ 2) の研修を履行していること。
 - ② 上記 1) ①の実務経験を満たさない者は，日本腎臓学会研修施設において 2) の研修を履行していること。

* 実務経験の施設基準：日本腎臓学会が認定する腎臓専門医の常勤医または非常勤医，または 10 年の会員歴を有する日本腎臓学会所属の常勤医がおり，かつ，腎臓病患者の内科外来診察および患者教育・指導が恒常的に行なわれている施設。透析実施の有無は問わない。

2) 研修（ケースレポートを含む）

下記(1)～(4)に相当する研修を，施設基準を満たす自施設または他施設（日本腎臓学会研修施設）で行い，これを証明する各 2 例のケースレポートを提出すること。ただし，自施設において上記 1) ①の実務経験を満たす者は，同職種の見学・実施およびケースレポートは不要。各職種の専門資格**を有する者は(1)も免除。

- (1) 腎臓内科医師による CKD 患者の外来見学
- (2) 看護師による CKD 患者の療法指導の見学または実施
- (3) 管理栄養士による CKD 患者の栄養指導の見学または実施
- (4) 薬剤師による服薬指導の見学または実施

**透析療法指導看護師、透析認定看護師、腎臓病病態栄養専門管理栄養士、腎臓病薬物療法認定薬剤師

- 3) 腎臓病療養指導士創設に関する合同委員会主催の講習会を受講し，その受講証を提出すること。（講習会受講は 5 年間有効とする）。

以上

第1回腎臓病療養指導士講習会プログラム

日 時： 平成29年3月19日（日曜日）午前10時より午後16時
会 場： 東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂

10：00～10：15 冒頭挨拶

10：15～10：45 CKD とは何か？

10：45～11：15 CKD の医学的・一般的管理について

11：15～11：55 CKD 患者の療養生活支援(セルフマネジメント支援)

昼 食（1時間） 各自ご持参下さい。

13：00～13：40 CKD 患者の療法選択の指導

13：40～14：20 CKD 診療に関する適切な服薬指導(使用の注意点)

14：20～15：00 ステージ別の食事指導

休 憩（10分）

15：10～15：25 質疑・応答

15：25～15：55 チーム医療

16：00 閉会の辞